

・・・ 新刊本紹介 ・・・

請求記号	本の名前	書いた人	出版社
016-ウ	塩尻の新図書館を創った人たち われら図書館応援団	内野安彦	ほおずき書籍
019-ヒ	100冊の絵本と親子の3000日	福沢周亮 ほか	教育出版
289-チ	マッサンとリタ ジャパニーズ・ウイスキーの誕生	オリヴ・チェックランド	NHK出版
291-ツ	0円で空き家をもって東京脱出!	つるけんたろう	朝日新聞出版
324-シ	自分で出来る! 法人設立実践マニュアル	安部高樹	三修社
367-リ	離婚してもいいですか?	野原広子	KADOKAWA
407-エ	NHK考えるカラス	NHK「考えるカラス」制作班	NHK出版
444-ミ	地球の変動はどこまで宇宙で解明できるか	宮原ひろ子	化学同人
486-マ	ツノゼミ ありえない虫	丸山宗利	幻冬舎
493-ス	スーパー図解パーキンソン病	村田美穂	法研
594-ワ	かわいい動物のモールド人形	わたなべよしこ	河出書房新社
596-リ	簡単美味しいショウ更さんのあごだしレシピ	野見山ショウ更	主婦の友社
613-ス	図解でよくわかる土・肥料のきほん	日本土壌協会	誠文堂新光社
675-ツ-10	新・買ってはいけない 10	渡辺雄二	金曜日
726-ハ	平和をわれらに! 漫画が語る戦争	水木しげる 手塚治虫ほか	小学館クリエイティブ
750-イ	親子でいっしょに季節の手作りあそび	イシグロフミカ	日東書院本社
754-ク	竹かご編みの技法書	竹かご部	誠文堂新光社
759-テ	頭のいい子を育てる手作り知育おもちゃ	寺西恵里子	主婦の友社
762-オ	おわらない音楽	小沢征爾	日本経済新聞出版社
778-キ	歩いて行く二人 岸恵子 吉永小百合	岸恵子 吉永小百合	世界文化社
790-オ	男の趣味部屋・秘密基地 趣味ある人生を楽しもう		徳間書店
911-シ	シルバー川柳 七転び八起き編 笑いあり、しみじみあり	みやぎシルバーネット	河出書房新社
914-イ	杖ことば ことわざ力を磨くと逆境に強くなる	五木寛之	学研パブリッシング
914-ウ	明日は、いずこの空の下	上橋菜穂子	講談社
914-チ	この子オレの!	中場利一	本の雑誌社
914-リ	人間、最後はひとり。	吉沢久子	さくら舎
916-ク	ダウン症児の母親です! 毎日の生活と支援、こうなってる	たちばななおる	講談社
B288-ク	ご先祖様はどちら様	高橋秀実	新潮社
B595-ホ	ちゃんとキレイにヤセたくて。	細川貂々	幻冬舎
BF-ヒ	マスカレード・イブ	東野圭吾	集英社
F-7	かわうそ お江戸恋語り。	あさのあつこ	祥伝社
F-7	阿蘭陀西鶴	朝井まかて	講談社
F-7	野球部ひとり	朝倉宏景	講談社
F-イ	虫娘	井上荒野	小学館
F-イ	炎を薙ぐ	池永陽	講談社
F-イ	離陸	糸山秋子	文芸春秋
F-ウ	大正の後	植松三十里	PHP研究所
F-カ	エデンの果ての家	桂望実	文芸春秋
F-カ	笹の舟で海をわたる	角田光代	毎日新聞社
F-ク	後妻業	黒川博行	文芸春秋
F-サ	ラストレター	さだまさし	朝日新聞出版
F-シ	幻肢	島田荘司	文芸春秋
F-シ	壁と孔雀	小路幸也	早川書房
F-ツ	スタープレイヤー	恒川光太郎	KADOKAWA
F-ツ	エヴリシング・フロウズ	津村記久子	文芸春秋
F-ト	妻恋坂情死行	鳥羽亮	幻冬舎
F-チ	かたづけの!	中島京子	集英社
F-リ	それは秘密の	乃南アサ	新潮社
F-ハ	緋の天空	葉室麟	集英社
F-ハ	復活祭	馳星周	文芸春秋
F-ヤ	ギフトレッド	山田宗樹	幻冬舎
S788-シ	隠岐の牛突き 番付に見た「称号」574選	神村信幸	服部

紹介しているのは9月に入った新刊の一部です。他にもたくさんありましたのでチェックしてみてください。

図書館にない本が読みたいときには、リクエストをしてください。他の図書館から借りるか、購入してお届けします。

隠岐の島町図書館通信

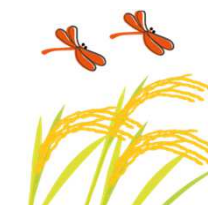


読まんかね

隠岐の島町図書館

2014. 10 Vol. 113

〒685-0014
島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二、17-1
tel : 08512-2-2341 fax : 08512-2-9198
http://www.town.okinoshima.shimane.jp/toshokan/
e-mail : s-tosho@mx.miracle.ne.jp



しまね子ども読書フェスティバルin隠岐の島町 開催中!

ボランティアによる ストーリーテリングの会

ストーリーテリング(覚えて語るお話)によるおはなし会を行います。ボランティアの方が語るすてきなお話を聞いてみませんか?
(対象: 5歳~小学生)

10月25日(土) 15時~



同時開催

図書館まつり

○古本市

1冊10円から! いろんな本がありますので、ぜひ、あなたの一冊を探しに来てください。
11月1日(土) 10時~17時
11月2日(日) 10時~16時



○ブックトークの会 11月1日(土) 14時~
○おはなしのへや 11月1日(土) 15時~

Let's ^{りかどく}理科読 くうきの本をたくさん読んでたくさん実験

講師: NPO法人 ガリレオ工房
土井美香子氏、阿部國廣氏

内容は...

- ・空気があるって確かめる方法は?
- ・空気はとっても力持ち!
- ・エアジャッキを知ってるかい?
- ・空気を詰め込んで新聞紙ドームをふくらませて、みんなで入ろう!
- ・空気の絵本の読み聞かせ など



11月2日(日) 研修室
第1部 10時半~12時
第2部 13時半~15時

※2部とも内容は同じです。
入場者多数の場合、お断りすることがあります。

裏にもあるよ!



しまね子ども読書フェスティバルin隠岐の島町 開催中!

えーさくおじさんの絵本をめぐる冒険

読みメン講座でもおなじみの岩田英作先生（島根県立大学短期大学部総合文化学科教授）が、絵本の読み方やオススメ絵本の紹介などをしてくれます。お子さんも一緒にどうぞ!

11月8日(土) 14時~15時半



楽天いどうとしょかん

楽天の移動図書館がやってきます。1200冊の本と電子ブックリーダー「Kobo Touch (コボ タッチ)」の体験ができます。

11月8日(土) 13時~17時



ブックスタート展
~赤ちゃんは絵本がだいすき!~

赤ちゃんに絵本を渡すブックスタート活動が、隠岐の島町で始まってから丸7年。ブックスタートってなに?という疑問から今までの活動の様子を写真入りで紹介します。

楽しんでいる赤ちゃんの写真をごらんください

10月18日(土)~11月30日(日)



展示

ぜひ、おでかけください!



隠岐アゴラで、
ビブリオバトル!!

隠岐アゴラではビブリオバトルを開催しています。ビブリオバトルとは、参加者が本の魅力を紹介しあう書評ゲームです。本が好きな方、イベント好きな方、ぜひご参加ください。毎月第2土曜日に行っています。(11月は日曜に開催します)

次回は

11月9日(日) 14:30~
隠岐の島町図書館研修室



開館日カレンダー

色の日 は 休館日

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

定例行事

- はじめてのえほん 毎週日曜日 10:30~
- おはなしのへや 毎週土曜日 15:00~
- ブックトークの会 11月1日(土)14:00~

・・・展示コーナー & 特集コーナー・・・

★特集コーナー

★えほんコーナー

《 商売繁盛! 》

《 こわいせかい 》

お店をもっとよくしたい!
商品、接客、集客のコツなど、
商売に役立つ本を集めました。



10月31日はハロウィン!
怖いおばけや魔女たちの絵本を見てみてね。



・・・9月の利用状況報告・・・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
26年度	2,714	1,307	6,478	17
25年度	5,013	1,482	6,968	13
比較	▲2,299	▲175	▲490	4

・・・9月によく読まれた本ベスト10・・・

1位	豆の上で眠る	湊かなえ	新潮社
2位	森泉流手作り雑貨MY“DIY”BOOK	森泉	宝島社
2位	冷蔵庫超片付け術	島本美由紀	双葉社
2位	おばさん事典	小川有里	毎日新聞社
2位	昨日みた夢 口入れ屋おふく	宇江佐真理	KADOKAWA
2位	さいとう市立さいとう高校野球部	あさのあつこ	講談社
2位	ターンオーバー	堂場瞬一	角川春樹事務所
2位	神の子 上	薬丸岳	光文社
2位	かたづの!	中島京子	集英社
2位	それは秘密の	乃南アサ	新潮社

・・・図書館職員オススメの一冊・・・

『知れば知るほどおもしろい琉球王朝のすべて』上里隆史・喜納大作/著
河出書房新社



今月は古崎が
紹介します!

先日、沖縄に行った友人から、黒船で来航したペリーは浦賀に行く前に琉球に来たという話を聞きました。考えてみれば、日本の歴史は学校で習ったけど、沖縄の歴史はあまり知らないと思い、この本を手にとってみました。沖縄は現在、日本の一部ですが、それまでは独立したひとつの国だったことを改めて感じました。例えば、古墳時代がありますが、沖縄には古墳を造る文化がなかったで、その時代を古墳時代と呼ぶことは適さないことや、中国語由来の言葉があること、日本が鎖国中でも沖縄はさまざまな国と交流していたことなど、読めば読むほど沖縄独自の歴史や文化を知ることができます。

これから沖縄に行く予定があれば、この本を一読しておくことより味わい深い旅になるかもしれません。特に首里城へ行くことをオススメします。